

# 四日市市幼児教育センター

令和6年11月



## センターだより



### 夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

公開保育(研究)実践検討会 北部ブロック・中部ブロック 開催しました。  
南部ブロックは、11月29日(金)開催です。



3つの資質能力が小学校での生活の土台となる。やってみたくてという学びに向かう力がまなびの基礎となり、「やってみたくて」という興味のエンジンがまなびのめばえとなることを学んだ。



やってみたくてが学びの芽生えになる。  
この子にこの力をつけたいと思うのであれば遊びを発展させることが大事だということも学んだ。  
遊びの共同者として明日から遊びこみたいと思います

北部ブロック富田こども園助言者  
岐阜聖徳学園大学教育学部  
教授 西川 正晃先生

子どもが主体で意欲的に遊べるように再度、園の遊びの状況、興味などを観察したいと感じました。  
遊び込める環境設定などを見直していけると良いと思いました。

公開保育(研究)実践検討会 終了後のアンケートの一部を掲載しました。

実践検討会では、参観した遊びについて、「こどもの姿」「環境」「保育者のかかわり」の視点から付箋を用いて、意見を交流しました。参加者一人ひとりがこどもにかかわる保育者や教育者という公開保育実施園の保育者と同じ立ち位置で、共同的に意見を交流し、自身の振り返りにつなげています。

「同じ保育をする仲間として保育を見合い、語り合い、自らも保育者として難しさが分かるからこそ、(※1)」明日からの保育の糧になることや保育が楽しいと思える公開保育(研究)実践検討会にしたいと思っています。また、学びの芽生えが小学校以降の自覚的な学びにつながっていくように、この公開保育(研究)実践検討会が小学校の先生と、こどもの姿をつなげ、見方や考え方を共有していくコンテンツになればよいと思っています。(※1)「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討委員会」(第6回)記録より」



こどもたちの好きなことを環境、実践で遊びにつなげ、保育者自身が子どもたちと一緒に楽しみ、共感する姿を見て、自分も改めてそうでありたいと思い返す機会となりました。

本物みたいに！と憧れから再現したい子どもの姿に保育者はどこまで見守り、声をかけていくのかを改めて考えたいと思いました。  
自分で試行錯誤したり、周りの子たちに助けを求めたり、一緒に作って行ったりしながら、自分で作り上げることを受け止めていきたいと思いました。

子どもたちが自分のやりたいことに向かうために、先生の安心できるかかわりや、使いたい時にすぐに使える環境など、いろいろな観点から出し合い、とても勉強になった。つながるからこそ自己が確定し、際立っていくという話をきかせてもらい、つながりということを考える機会にもなった。



中部ブロックときわ保育園助言者  
桜花学園大学保育学部  
教授 上村 晶先生



南部ブロック楠こども園公開保育（研究）  
実践検討会は、11月29日（金）助言者に  
三重大学教育学部教授 富田昌平先生を  
迎え、行います。参加申込ください。